

第100期 報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日まで

BUSINESS
REPORT

株主の皆様へ

小松精練株式会社 平成24年3月期第2四半期累計（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の業績についてご報告申し上げます。

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響により寸断されたサプライチェーンや生産設備の復旧が急速に進み、国内の経済活動は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧州債務問題の深刻化や米国経済の減速、更には急激な円高の進行とその長期化により輸出企業を中心に業績の下振れ懸念が高まり、先行きは依然として不透明な状況となっています。

このような事業環境のなか、当社グ



ループは独自性の高い技術力と素材群を機軸に市場創造を図り、収益拡大による成長戦略を目指しました。同時に、企業体質の強化にも取り組み、事業環境に対応したフレキシブル生産の推進、ならびに業務効率の向上など利益体質の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比10.5%増の19,429百万円となり、営業利益は前年同期比63.0%増の1,293百万円、経常利益は前年同期比45.2%増の1,368百万円、四半期純利益は前年同期比26.2%増の873百万円となりました。

今後につきましては、長期化する円高や海外経済の減速など厳しい経営環境が継続すると予想されます。このような環境下、当社グループは、円高抵抗力の高い商品群の投入による輸

出拡大から粗原料の輸入拡大までを含めた海外戦力の強化と市場セグメンテーションに基づいた受注拡大に積極的に取り組んでいることから、当連結会計年度通期の業績につきましては5月10日に発表した予想値を上方修正し、連結売上高37,000百万円、営業利益1,900百万円、経常利益2,200百万円、四半期純利益1,400百万円を予想しております。

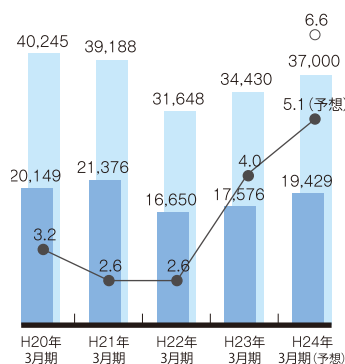
当社グループは世界市場を見据えたグローバル戦略を推進し、市場に新しい価値の提供と既存の枠にとらわれず常に挑戦し続ける「挑戦と変革」を掲げ、経営基盤の強化と企業価値の向上に努める所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

小松精練株式会社
代表取締役社長 池田 哲夫

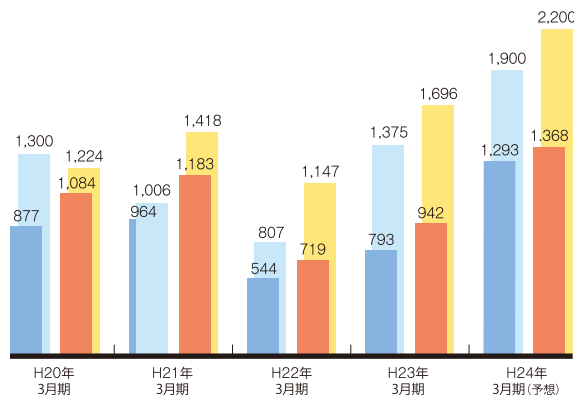
売上高 (百万円)

売上高(通期)
売上高(第2四半期)
● 営業利益率(通期) (%)
○ 営業利益率(第2四半期) (%)



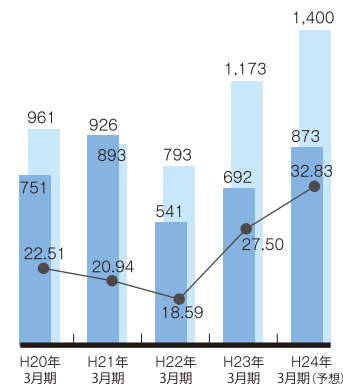
営業利益・経常利益 (百万円)

営業利益(通期)
営業利益(第2四半期)
● 経常利益(通期)
● 経常利益(第2四半期)



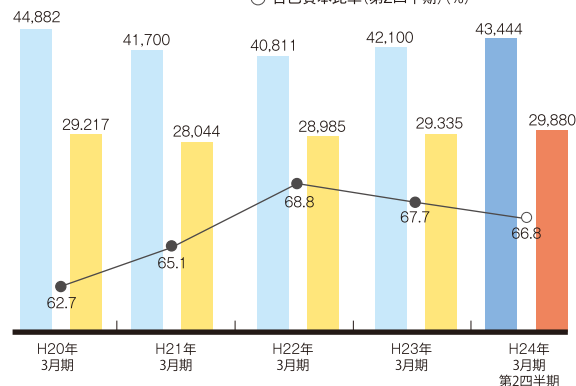
当期純利益・ 1株当たり当期純利益

当期純利益(通期) (百万円)
当期純利益(第2四半期) (百万円)
● 1株当たりの当期純利益(通期) (円)



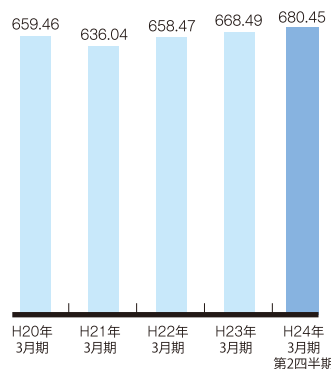
総資産・純資産・自己資本比率

総資産(通期) (百万円)
総資産(第2四半期) (百万円)
● 自己資本比率(通期) (%)
○ 自己資本比率(第2四半期) (%)

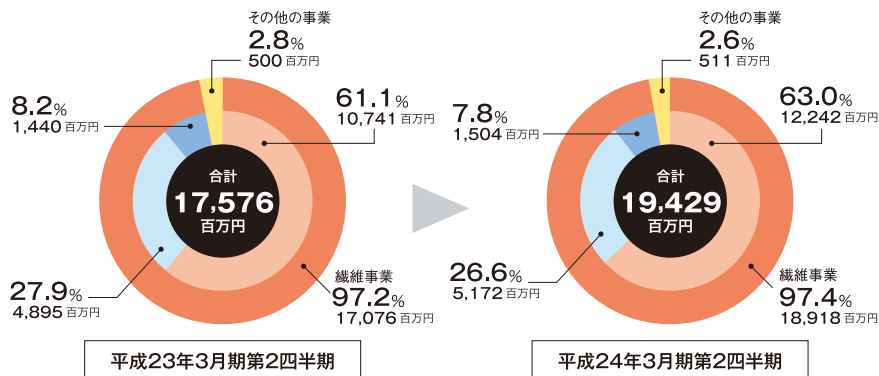


1株当たり純資産

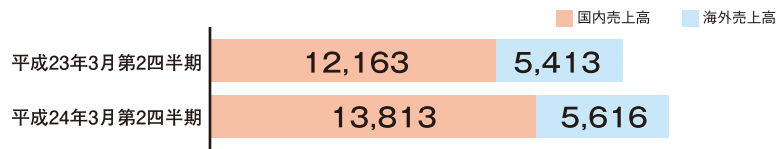
1株当たり純資産(通期) (円)
1株当たり純資産(第2四半期) (円)



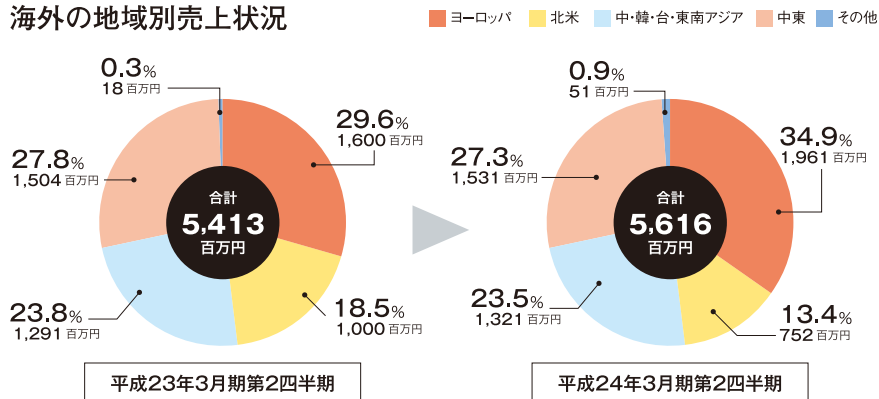
事業別売上状況



消費地別売上状況



海外の地域別売上状況



事業別売上状況

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

繊維事業

衣料ファブリック部門は、当社の得意とする高感性・高機能素材の開発と市場導入の積極的な推進により、ファッション・スポーツ分野が大幅に拡大しました。特に、海外については為替の影響を受けるも、円高抵抗力の高い商品群の新規投入により受注量が大幅拡大するなど、国際営業部（直接輸出部門）の売上高が躍進しました。

資材ファブリック部門は、震災による自動車メーカーの減産の影響を受け、車輻分野は減少しましたが、リビング分野については市場ニーズに合致した断熱・省エネ効果の期待できるファブリック群が伸張し、順調に拡大しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は前年同期比10.8%増の18,918百万円となりました。

その他事業

物流分野、並びに物販分野が順調に推移し、その他事業の売上高は前年同期比2.2%増の511百万円となりました。

消費地別売上状況

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

国内売上高

スポーツ分野については、レインウェア等のアウトター向け透湿防水素材が好調に推移し、更に健康志向の高まりなどの追い風もあり順調に拡大しました。ファッション分野については、機能と感性が融合した機能性薄膜素材などが順調に拡大し、更に差別化素材群の新規市場導入等により大幅拡大しました。以上の結果、国内売上高は前年同期比13.6%増の13,813百万円となりました。

海外売上高

為替の影響を受けるも、円高抵抗力の高い商品群の新規導入と欧州中心としたラグジュアリーブランドにおける差別化軽量素材や、積極的に市場導入した、エレガントでドレスリーな新質感ファブリック「ハニービンテージ」など、当社独自のオンリーワン素材群が好調に推移し売上げ拡大に貢献しました。また、ドバイを中心とした中東経済が回復基調となり民族衣装分野が堅調に推移しました。以上の結果、海外売上高は前年同期比13.8%増の5,616百万円となりました。

TOPICS

宮城県名取市の 集合仮設住宅の屋根に

▶2011年8月

『グリーンビズ ルーフ』を設置

3・11の東日本大震災で被災された宮城県名取市の2ヶ所の仮設集合住宅の集会場の屋根に超微多孔発泡セラミックス「グリーンビズ ルーフ」を設置させていただきました。夏場の暑さ対策と冬場の寒さ対策として「グリーンビズ ルーフ」の特徴である高い断熱機能で快適に過ごして頂くことを願ったものです。また、07年3月の能登沖地震の後、仮設住宅に住まわれた方から「雨の音がうるさかった」という声を聞き、「グリーンビズ ルーフ」の特徴である高い遮音性機能がお役にたてないかと考え、実証実験も兼ねて設置しました。地域住民の方からは「夏は涼しく、雨音も静か」と嬉しいお言葉をいただいております、引き続き冬場の断熱効果について計測調査行なってまいります。

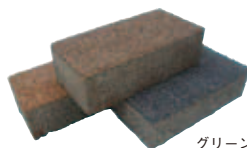


“吸水・保水・軽量”3拍子そろった 世界初の舗装材

▶2011年8月

『グリーンビズ グラウンド』

小松精練が独自に開発した環境材料・超微多孔発泡セラミックス「グリーンビズ」が更に進化を遂げ、吸水性と保水力の高い道路・駐車場などの舗装材として「グリーンビズ グラウンド」が完成しました。「グリーンビズ グラウンド」の高い保水性による気化冷却効果が路面の温度上昇を抑えられ、ヒートアイランド現象の緩和が大いに期待されています。また、高い吸水性によって、雨の日には水溜りができない歩道・駐車場用の材料としても注目されています。



グリーンビズ グラウンド

ベビーカシミア調のエレガントでドレスシーな素材

▶2011年9月

「ハニービンテージWL」

「ハニービンテージWL」はお客様からの声をもとに開発されたエレガントでドレスシーな秋冬向けのあったか素材です。“ウォーム感”の発現方法について物理・化学の両面から研究開発を進め、ポリエステルでありながらカシミアのような微細なうぶ毛状の立毛感を物理的に発現可能な「特殊パドル起毛

装置」を完成させ、高級感と上質感のある見た目・風合い・肌触りを作り出しています。また“膨らみ感”を維持しつつ滑らかな肌触りを与える特殊仕上げ樹脂を独自開発し、素材そのものの質感を活かすため、自社開発した「特殊ナッピング装置」によって繊維の一本一本に特殊仕上げ樹脂をナノレベルで

被膜させています。これらの新技術によって、テキスタイルに美しさと優しさを与え、触るだけでやさしさを与えるような「ベビーカシミア調」の質感と肌触りを実現させました。現在秋冬向けの素材として、国内外のファッションアパレルからも多くの受注を頂いております。



連結貸借対照表の要旨

平成23年9月30日現在

資産の部

科 目	当第2 四半期	前 期	増 減
■ 流動資産	27,095	25,383	1,712
現金及び預金	6,705	6,955	△ 250
受取手形及び売掛金	9,533	8,070	1,462
有価証券	5,490	5,380	109
たな卸資産	5,029	4,553	476
繰延税金資産	223	172	51
その他	170	335	△ 164
貸倒引当金	△ 56	△ 83	26
■ 固定資産	16,348	16,716	△ 367
〔有形固定資産〕	8,256	8,184	72
建物及び構築物	3,226	3,252	△ 26
機械装置及び運搬具	2,353	2,581	△ 228
土地	2,450	2,132	318
建設仮勘定	30	63	△ 32
その他	196	154	41
〔無形固定資産〕	229	226	3
〔投資その他の資産〕	7,862	8,305	△ 442
投資有価証券	6,330	6,775	△ 444
繰延税金資産	1,264	1,265	△ 1
その他	279	287	△ 7
貸倒引当金	△ 11	△ 22	11
資産合計	43,444	42,100	1,344

単位：百万円

負債の部

科 目	当第2 四半期	前第2 四半期	増 減
■ 流動負債	9,602	8,594	1,007
支払手形及び買掛金	7,031	6,515	516
短期借入金	99	310	△ 210
未払法人税等	379	114	265
賞与引当金	479	297	182
その他の引当金	280		280
その他	1,330	1,357	△ 26
■ 固定負債	3,962	4,170	△ 207
退職給付引当金	3,443	3,640	△ 197
役員退職慰労引当金	366	371	△ 5
環境対策引当金	11	11	
その他	141	146	△ 4
負債合計	13,564	12,764	799

純資産の部

科 目	当第2 四半期	前 期	増 減
■ 株主資本	29,404	28,788	616
資本金	4,680	4,680	
資本剰余金	4,720	4,720	
利益剰余金	20,222	19,604	617
自己株式	△ 219	△ 217	△ 1
■ その他の包括利益累計額	△ 387	△ 277	△ 109
その他有価証券評価差額金	△ 133	△ 19	△ 114
為替換算調整勘定	△ 253	△ 258	4
■ 少数株主持分	863	824	38
純資産合計	29,880	29,335	544
負債・純資産合計	43,444	42,100	1,344

連結損益計算書の要旨

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

単位：百万円

科 目	当第2 四半期	前第2 四半期	増 減
■ 売上高	19,429	17,576	1,853
売上原価	15,569	14,342	1,226
売上総利益	3,860	3,233	626
販売費及び一般管理費	2,566	2,440	126
■ 営業利益	1,293	793	499
営業外収益	296	244	51
受取利息	23	26	△ 3
受取配当金	56	42	14
持分法投資利益	113	110	3
貸倒引当金戻入額	25		25
その他	76	64	12
営業外費用	221	95	125
支払利息	0	3	△ 2
為替差損	189	87	102
その他	30	4	26
■ 経常利益	1,368	942	425
特別利益	0		0
投資有価証券売却益	0		0
特別損失	67	99	△ 31
固定資産除却損	4	6	△ 2
投資有価証券売却損	62	92	△ 29
その他	0	0	0
■ 税金等調整前四半期純利益	1,300	843	457
■ 法人税、住民税及び事業税	362	85	276
■ 法人税等調整額	27	49	△ 22
■ 少数株主損益調整前四半期純利益	909	707	202
■ 少数株主利益	35	15	20
■ 四半期純利益	873	692	181

連結株主資本等変動計算書の要旨

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

単位：百万円

当第2四半期

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
平成23年3月31日残高	4,680	4,720	19,604	△217	28,788	△19	△258	△277	824	29,335
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△255		△255					△255
四半期純利益			873		873					873
持分法の適用範囲の変動										
自己株式の取得				△2	△2					△2
自己株式の処分			0	0	0					0
株主資本以外の項目の変動額						△114	4	△109	38	△71
連結会計年度中の変動額合計			617	△1	616	△114	4	△109	38	544
平成23年9月30日残高	4,680	4,720	20,222	△219	29,404	△133	△253	△387	863	29,880

前第2四半期

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
平成22年3月31日残高	4,680	4,720	18,939	△212	28,128	94	△128	△34	891	28,985
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△255		△255					△255
四半期純利益			692		692					692
持分法の適用範囲の変動										
自己株式の取得				△1	△1					△1
自己株式の処分			0	0	0					0
株主資本以外の項目の変動額						△323	△49	△372	△13	△386
連結会計年度中の変動額合計			436	△1	435	△323	△49	△372	△13	49
平成22年9月30日残高	4,680	4,720	19,376	△213	28,563	△228	△178	△406	877	29,034

キャッシュ・フロー計算書の要旨

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

単位：百万円

科 目	当第2 四半期	前第2 四半期	増 減
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	988	1,692	△703
税金等調整前四半期純利益	1,300	843	457
減価償却費	645	633	12
引当金の増減額(減少：△)	45	183	△137
売上債権の増減額(増加：△)	△1,461	△1,508	47
仕入債務の増減額(減少：△)	513	1,531	△1,017
たな卸資産の増減額(増加：△)	△473	△183	△289
法人税等の支払・還付(支払：△)	△97	△228	131
その他	514	421	93
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△607	△3,542	2,935
固定資産の取得による支出	△639	△303	△336
固定資産の売却による収入	1	0	0
定期預金の預入・払戻(預入：△)	70	△2,560	2,630
有価証券の取得・償還(取得：△)	40	△810	850
投資有価証券の取得・売却(取得：△)	△103	△12	△90
その他	23	143	△119
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△470	△253	△216
短期借入金の純増減額(減少：△)	△211	3	△214
配当金の支払額	△256	△255	△1
その他	△1	△1	0
■ 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△10	12
■ 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△86	△2,114	2,027
■ 現金及び現金同等物の期首残高	7,018	6,139	878
■ 連結範囲の変更に伴う影響額	57		57
■ 現金及び現金同等物の期末残高	6,989	4,025	2,963

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417
URL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告（当社ウェブサイトに掲載） http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html ※事故その他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

役員・執行役員

平成23年11月30日現在

役 職	氏 名
代表取締役会長	中山 賢一
代表取締役社長	池田 哲夫
専務取締役	高木 泰治
常務取締役	山竹 俊樹
取 締 役	奥谷 晃宏
取 締 役	尾野寺 賢
取 締 役	中山 大輔
取 締 役	首藤 和彦
取 締 役	天雲 一裕
取 締 役	尾川 勝也

役 職	氏 名
監 査 役	竹内 和也
監 査 役	石倉 幸雄
監 査 役	根上 健正
監 査 役	割出 雄一
執行役員	折本 忠
執行役員	向 潤一郎
執行役員	米谷 俊泰
執行役員	米澤 和洋
執行役員	金法 順正
執行役員	毛利 祥規
執行役員	茶谷 秀樹
執行役員	松尾 千洋

発行済株式数・株主数

発行済株式数 ● 43,140,999 株
株主数 ● 3,411 名

所有者別分布状況



大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
東レ株式会社	2,649 千株	6.21%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,289 千株	5.37%
株式会社北國銀行	2,113 千株	4.96%
日本生命保険相互会社	1,467 千株	3.44%
小松精練松栄会	1,432 千株	3.36%
株式会社北陸銀行	1,263 千株	2.96%
三菱商事株式会社	1,250 千株	2.93%
住友信託銀行株式会社	1,230 千株	2.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,170 千株	2.74%
株式会社クラレ	1,090 千株	2.56%

（注）持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社の概況

商 号	小松精練株式会社	大阪営業所	大阪市中央区本町 2丁目 5番 7号 (大阪丸紅ビル 4階)
設立年月日	昭和18年10月8日	東京営業所	東京都中央区銀座 3丁目 9番 7号 (トレランス銀座ビルディング 8階)
資 本 金	46億8,042万円	北陸営業所	石川県能美市浜町ヌ167番地 (小松精練株式会社 本社 2階)
本 社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地	上海事務所	中国・上海市延安西路2200号 (上海国際貿易センター1913号)
本 社 工 場	同 上		
美 川 工 場	石川県白山市鹿島町1号7番地 1		

グループ企業

小松精練（蘇州）有限公司	中国・江蘇省蘇州市	株式会社ヤマトヤ	大阪市東住吉区
株式会社ケイズテック	石川県白山市	株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
ケーエス染色株式会社	石川県能美市	小松エージェンシー株式会社	石川県能美市

 **小松精練株式会社**
www.komatsuseiren.co.jp/